スカラネット入力下書き用紙記入例

日本学生支援機構奨学金の出願書類の１つである「スカラネット入力下書き用紙」の記入例です。記入例を確認し、下書き用紙を作成してください。
なお、下書きができた方は、コピーを取り、出願時には、「スカラネット入力下書き用紙」原本とコピー両方持参してください。

■貸与と給付を同時に出願される方は、「スカラネット入力下書き用紙（青色）【給付奨学金（貸与同時申し込み）用】」を使用してください。

■スカラネット入力下書き用紙 ②-奨学金申込情報
「貸与奨学金案内（ピンク色）」P.31 の解説をよく読み、１つ選択してください。
１年次生で、採用候補者であり、在学採用で別の種別の奨学金を申込む場合は、申込番号に注意してください。

変更	第二種の採用候補者だが、第一種に変更したい場合 ※第二種の「進学届」は必ず入力をしてください。第一種が採用となった場合、第二種は採用取消とします。	（1）を選択
追加	第一種の採用候補者だが、今回第二種も併せて貸与を希望する場合 ※申込情報の（13）を希望される方は、出願時にその旨を申出てください。 ※第一種の「進学届」は必ず入力してください。	（10）を選択
	第二種の採用候補者だが、今回第一種も併せて貸与を希望する場合 ※申込情報の（14）を希望される方は、出願時にその旨を申出てください。 ※第二種の「進学届」は必ず入力してください。	（11）を選択

■スカラネット入力下書き用紙 ⑨-（2）-（e）,(3)-(e) マイナンバーの提出
別途配付している「マイナンバー提出書」のセットにも記載がありますが、マイナンバーカードをお持ちでない方は「通知カード」等の提出になります。「通知カード」等の提出ができる方は、「準備できている」を選択してください。

貸与奨学金と給付奨学金を同時に出願される方は、「給付奨学金案内」に挟み込まれていた「スカラネット入力下書き用紙（青色）」を使用してください。

スカラネット入力下書き用紙

【貸与奨学金のみ申込み用】（大学・短期大学・専修学校専門課程）

独立行政法人 日本学生支援機構 JASSO Japan Student Services Organization

貸与奨学金のみを申し込む際の「スカラネット入力下書き用紙」です。在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）であり、給付奨学金と貸与奨学金の両方を申し込む場合は、給付奨学金案内に挟み込まれている「スカラネット入力下書き用紙【給付奨学金（貸与同時申込み）用】」を使用してください。
なお、緊急採用・応急採用に申し込む場合は、こちらの用紙を使用してください。

スカラネットURL　https://www.sas.jasso.go.jp/
受付時間　8：00～25：00（最終締切日は8：00～24：00）
※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力を開始してください。
入力所要時間の目安は30分～1時間です。

氏　名	学籍番号	学部・学科・分野

入力の際に必要な項目です。学校の担当者にあす正しい名称を確認してください。

受付番号
□□□□□□□□－□□□－□□□□

記入不要

「送信」ボタンを押し番号が画面に表示され

定期採用で申込みした場合は「2」、緊急採用・応急採用で申込んだ場合は「3」になります。

【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】
- 学校から受け取った識別番号（ユーザIDとパスワード）
- マイナンバー提出書
- 奨学金振込口座（本人名義）の通帳などのコピー（本冊子 14 ページに貼り付けてください。）

【スカラネット入力内容記入欄】
※インターネットで申し込む際は、「奨学金案内」37ページ「(3) 文字入力」を参照して文字を入力してください。

識別番号入力
あなたの識別番号（学校から交付されたユーザIDとパスワード）を入力してください。
（注）パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

ユーザID □□□□□□□□　パスワード □□□□□□□□

パスワードはスカラネット入力時は

記入不要
書類提出後、大学から ID・パスワードをお渡しします。

奨学金学種（学校）・申込の選択
あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。

課程を選択してください。

課程：大学の場合の表示例

申込む奨学金を選択後、「次へ」ボタンを押してください。

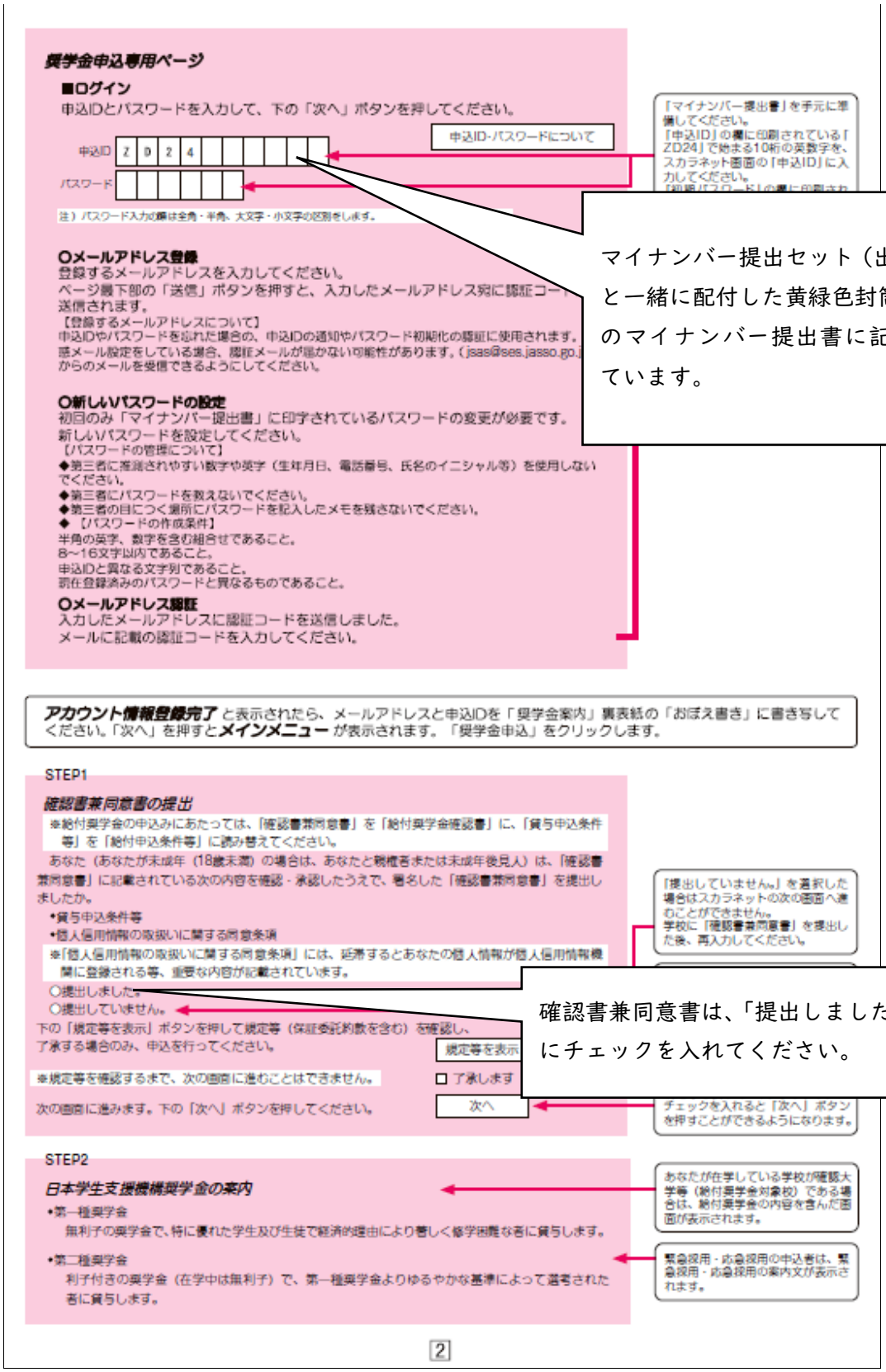
課程を選択すると、申し込む奨学金を選択する画面が表示されます。

(1) 定期採用（1次又は2次 給付奨学金・貸与奨学金）
○ 現在在学している大学での奨学金を申込むことができます。

(2) 家計急変採用（給付奨学金のみ）
○ 生計維持者に特定の事由が生じたことで家計急変し、急変後の収入状況が住民税情報に支援を要する場合のみ申し込むことができます。
学校で申込資格を確認してください。

(3) 緊急採用・応急採用（貸与奨学金のみ）
○ 生計を維持している人が失職、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等により家計急変が生じた人のみ申込むことができます。
学校で申込資格を確認してください。

「定期採用」を選択してください。



奨学金申込専用ページ

■ログイン

申込IDとパスワードを入力して、下の「次へ」ボタンを押してください。

申込ID・パスワードについて

申込ID　Z 0 2 4

パスワード

注）パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。

○メールアドレス登録

登録するメールアドレスを入力してください。
ページ最下部の「送信」ボタンを押すと、入力したメールアドレス宛に認証コード
送信されます。
【登録するメールアドレスについて】
申込IDやパスワードを忘れた場合の、申込IDの通知やパスワード初期化の認証に使用されます。
迷惑メール設定をしている場合、認証メールが届かない可能性があります。（jsas@ses.jasso.go.j
からのメールを受信できるようにしてください。

○新しいパスワードの設定

初回のみ「マイナンバー提出書」に印字されているパスワードの変更が必要です。
新しいパスワードを設定してください。
【パスワードの管理について】
◆第三者に推測されやすい数字や英字（生年月日、電話番号、氏名のイニシャル等）を使用しないでください。
◆第三者にパスワードを教えないでください。
◆第三者の目につく場所にパスワードを記入したメモを残さないでください。
◆【パスワードの作成条件】
半角の英字、数字を含む組合せであること。
8～16文字以内であること。
申込IDと異なる文字列であること。
既在登録済みのパスワードと異なるものであること。

○メールアドレス認証

入力したメールアドレスに認証コードを送信しました。
メールに記載の認証コードを入力してください。

「マイナンバー提出書」を手元に準備してください。
「申込ID」の欄に印刷されている「ZD24」で始まる10桁の英数字を、スカラネット画面の「申込ID」に入力してください。

マイナンバー提出セット（出願書類と一緒に配付した黄緑色封筒）の中のマイナンバー提出書に記載されています。

アカウント情報登録完了 と表示されたら、メールアドレスと申込IDを「奨学金案内」裏表紙の「おぼえ書き」に書き写してください。「次へ」を押すと**メインメニュー** が表示されます。「奨学金申込」をクリックします。

STEP1

確認書兼同意書の提出

※給付奨学金の申込みにあたっては、「確認書兼同意書」を「給付奨学金確認書」に、「貸与申込条件等」を「給付申込条件等」に読み替えてください。

あなた（あなたが未成年（18歳未満）の場合は、あなたと親権者または未成年後見人）は、「確認書兼同意書」に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出しましたか。

- 貸与申込条件等
- 個人信用情報の取扱いに関する同意条項

※「個人信用情報の取扱いに関する同意条項」には、延滞するとあなたの個人情報が個人信用情報機関に登録される等、重要な内容が記載されています。

○提出しました。
○提出していません。

下の「規定等を表示」ボタンを押して規定等（保証委託約款を含む）を確認し、了承する場合のみ、申込を行ってください。

規定等を表示

※規定等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

□ 了承します

次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。

次へ

「提出していません。」を選択した場合はスカラネットの次の画面へ進むことができません。
学校に「確認書兼同意書」を提出した後、再入力してください。

確認書兼同意書は、「提出しました」にチェックを入れてください。

チェックを入れると「次へ」ボタンを押すことができるようになります。

STEP2

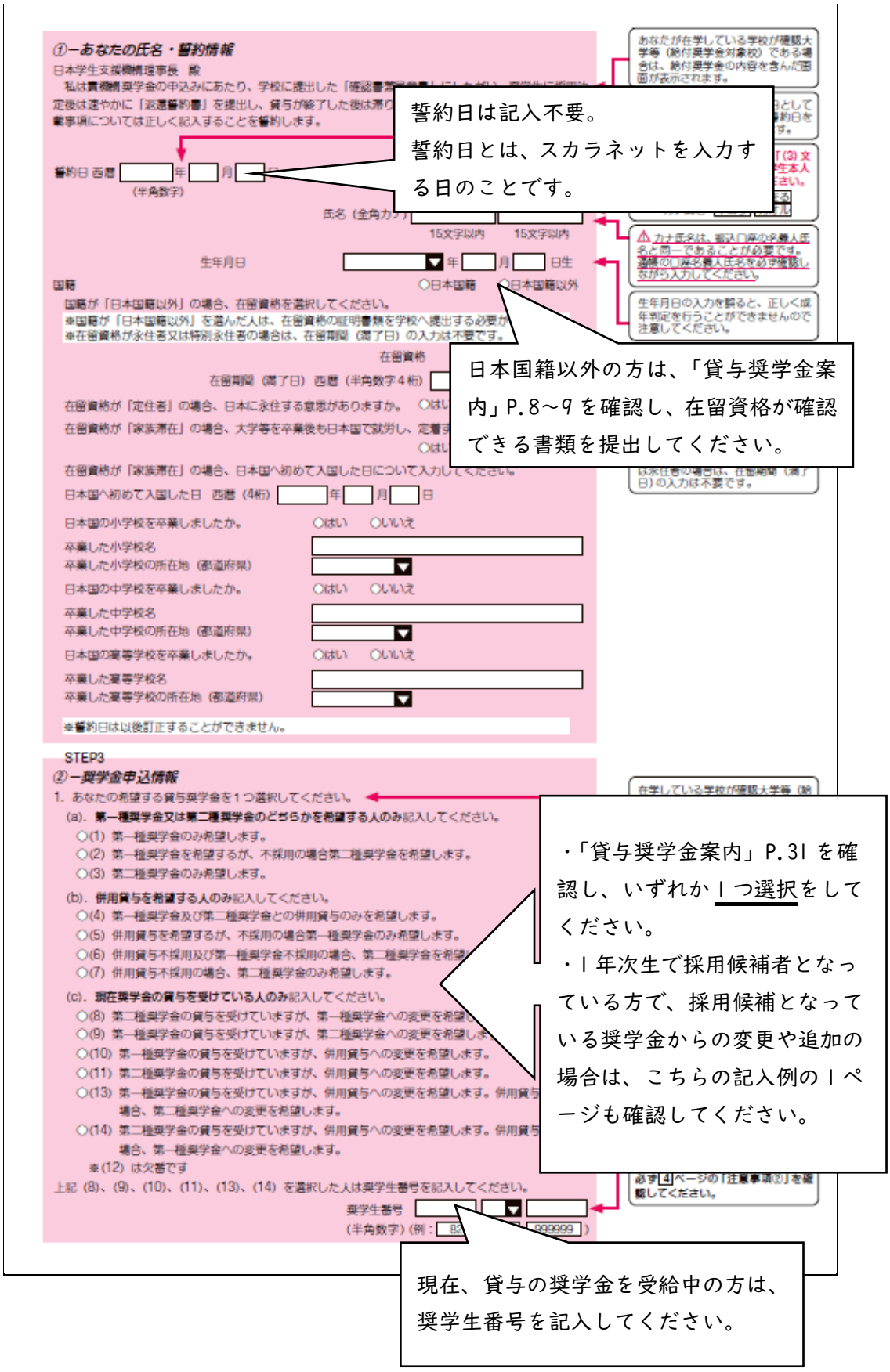
日本学生支援機構奨学金の案内

- 第一種奨学会
  無利子の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な者に貸与します。
- 第二種奨学会
  利子付きの奨学金（在学中は無利子）で、第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者に貸与します。

あなたが在学している学校が確認大学等（給付奨学金対象校）である場合は、給付奨学金の内容を含んだ画面が表示されます。

緊急採用・応急採用の申込者は、緊急採用・応急採用の案内文が表示されます。

2


誓約日は記入不要。
誓約日とは、スカラネットを入力する日のことです。
日本国籍以外の方は、「貸与奨学金案内」P.8～9を確認し、在留資格が確認できる書類を提出してください。
・「貸与奨学金案内」P.31を確認し、いずれか1つ選択をしてください。
・1年次生で採用候補者となっている方で、採用候補となっている奨学金からの変更や追加の場合は、こちらの記入例の1ページも確認してください。
現在、貸与の奨学金を受給中の方は、奨学生番号を記入してください。

③ーあなたの在学情報

1. 学校

(1) あなたの学校名を確認してください。　(1) ××大学

(2) あなたの学籍番号を記入してください。　(2) (半角英数字記号)

(3) あなたの在学している学部（科）名を選択してください。　(3)

(注) 短期大学・専修学校に在学している方は学校の指示にしたがって選択してください。

(4) あなたは専攻科または別科に在学していますか。　(4) ○いいえ

(5) 学年を記入してください。　(5) (半角数字)　学年

(6) 昼夜課程を選択してください。

○昼（昼夜開講含む）　○夜　○通信スクーリング　○無関スクーリング

(7) 現在通っている学校への入学に[illegible]①～③のうち該当するものを選択し、入学年月等を記入してください。

○①現在通っている学校の１年次に入学した。(同一校で転学部・科した[illegible]

→入学した年月：　西暦（半角数字４桁）　年　月

○②現在通っている学校の２年次以上の学年（課程）に、他の学校から編入学又は転学した。(以下３つの年月を全て記入してください。)

→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：

西暦（半角数字４桁）　年　月

→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：

西暦（半角数字４桁）　年　月

→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：

西暦（半角数字４桁）　年　月

○③現在通っている学校の２年次以上の学年（課程）に、他の学校から編入学又は転学した（編入学又は転学の前に在学していた学校（大学、短大、高専、専門学校）が２つ以上ある)。

(以下５つの年月を全て記入してください。)

【１回目の編入学】

→２回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校へ入学した年月：

西暦（半角数字４桁）　年　月

→２回目の学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：

西暦（半角数字４桁）　年　月

→２回目の学校へ編入学又は転学した年月：

西暦（半角数字４桁）　年　月

【２回目の編入学】

→現在通っている学校へ編入学又は転学する前に在学していた学校に在籍していた最終年月：

西暦（半角数字４桁）　年

→現在通っている学校へ編入学又は転学した年月：

西暦（半角数字４桁）　年　月

(8) あなたの正規の卒業予定年月を記入してください。

(8) 西暦（半角数字４桁）　年　月卒業予定

(9) あなたの正規の修業年限を記入してください。　(9) (半角数字)

<入学・卒業予定年月早見表>

2024年４月現在　１年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2024/4	2026/3
3年		2027/3
4年		2028/3
5年		2029/3
6年		2030/3

2024年４月現在　２年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
2年	2023/4	2025/3
3年		2026/3
4年		2027/3
5年		2028/3
6年		2029/3

2024年４月現在　３年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
3年	2022/4	2025/3
4年		2026/3
5年		2027/3
6年		2028/3

2024年４月現在　４年生

修業年限	入学年月	卒業予定年月
4年	2021/4	2025/3
5年		2026/3
6年		2027/3

※長期履修学生について

長期履修学生（「奨学金案内」10ページ参照）については、原則として奨学金を受けることのできる期間は通常課程の標準修業年限に相当する期間のみとなります。この場合、卒業予定年月は通常課程の卒業予定年月を、修業年限は通常課程の標準修業年限を記入のうえ、学校担当者へ申し出てください。

(2024年４月入学者の例)

通常課程の標準修業年限は２年・卒業予定年月は2026年３月

３年かけて履修し2027年３月が卒業予定年月となる長期履修学生

⇒卒業予定年月は2026年３月・修業年限は２年０ヵ月と入力してください。

なお、第二種奨学金の場合は、採用後に所定の手続きを行うことによって学則に定める「長期履修課程の修業年限の終期まで」貸与を延長することができます。詳しくは、学校に相談してください。

学ぶ前の学校の1年次に入学（高等専門学校からの編入学又は転学の場合は、高等専門学校の4年次進級）した実際の年月）を入力してください。

(8)通常は正規の卒業予定年月を入力します。例えば新入生で２年課程の人は2026年３月になりますが、過去に休学や留年をしたことがある人は、入学当初の卒業予定ではなく、今現在の卒業予定期を入力してください（左に掲載の**<入学・卒業予定年月早見表>**を参照してください）。なお、年度途中修了など特別な事情により、卒業月が３月以外になる学部・学科に在籍する場合は学校に確認してください。

(9)「修業年限」とは、あなたの学部・学科が何年課程のものかという意味です。

※現時点からあと何年通うかという意味ではありません。入力間違いをしないよう注意してください。

(例)

○４年課程の３年次に在学（編入）する人の修業年限は４年。

○２年課程に在学し、１年次の途中で中し込む人の修業年限は２年（1.5年ではありません）。

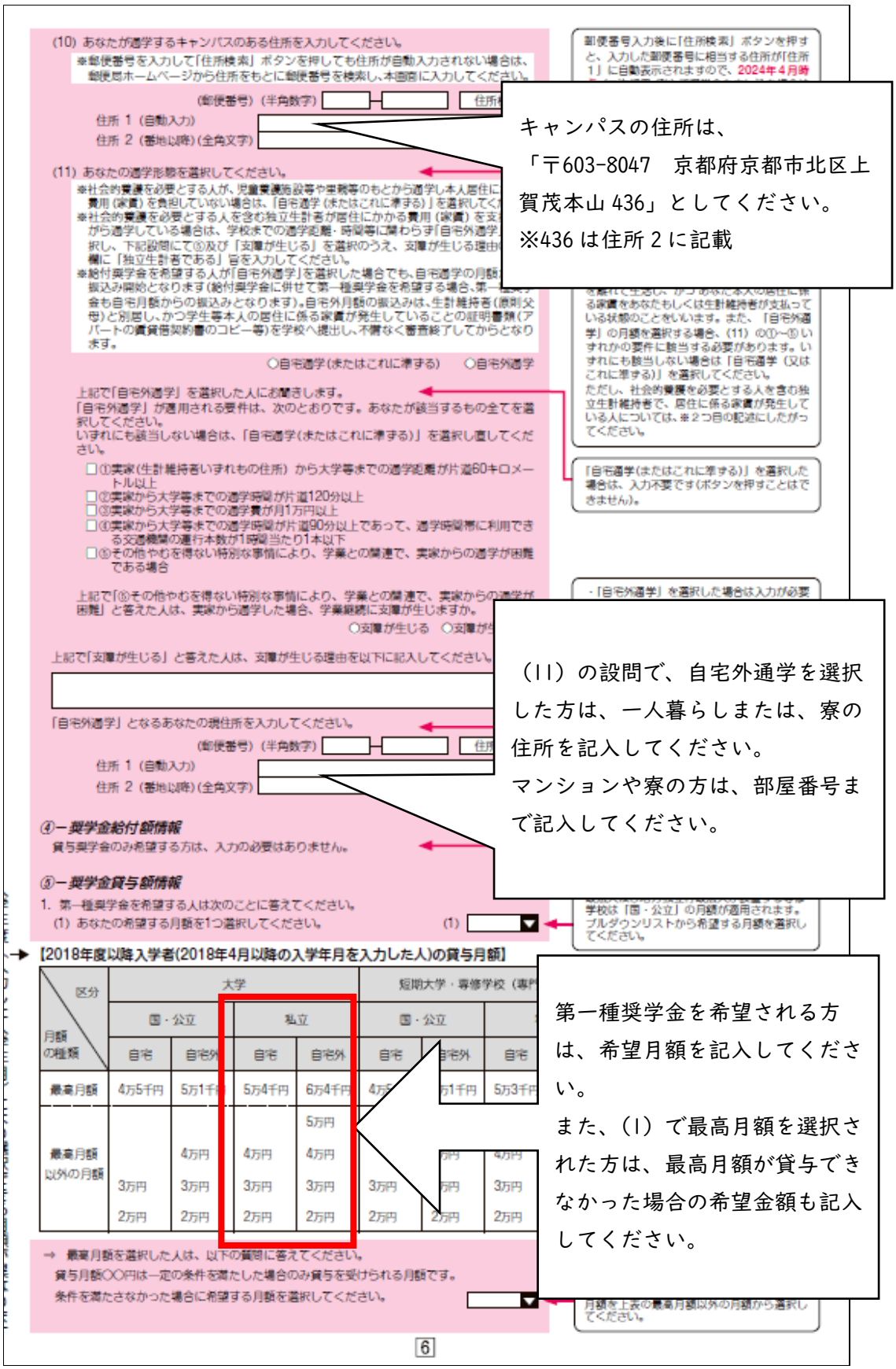
（2）の設問は学生証記載の６桁の番号を記入してください。

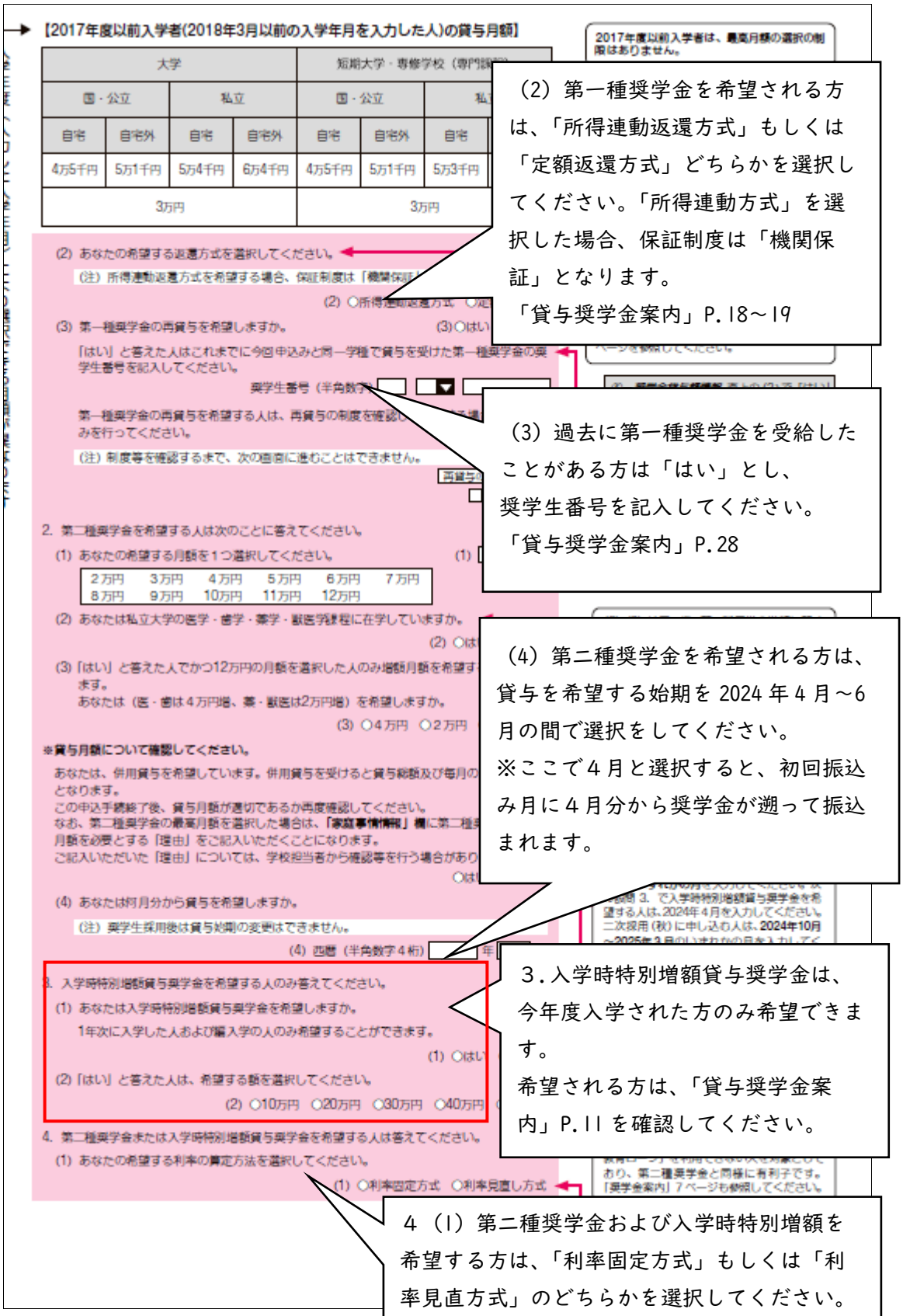
（4）の設問は全員「いいえ」を選択してください。

（6）の設問は全員「昼」を選択してください。

（8）の設問は、＜入学・卒業予定早見表＞を確認し、記入してください。

（9）の設問は、全員「４年０か月」と記入してください。


(10) あなたが通学するキャンパスのある住所を入力してください。
※郵便番号を入力して「住所検索」ボタンを押しても住所が自動入力されない場合は、郵便局ホームページから住所をもとに郵便番号を検索し、本画面に入力してください。
(郵便番号)（半角数字）
住所 1（自動入力）
住所 2（番地以降）(全角文字)
郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、2024年4月時
キャンパスの住所は、
「〒603-8047　京都府京都市北区上賀茂本山 436」としてください。
※436 は住所 2 に記載
(11) あなたの通学形態を選択してください。
○自宅通学（またはこれに準ずる）　○自宅外通学
上記で「自宅外通学」を選択した人にお聞きします。
「自宅外通学」が適用される要件は、次のとおりです。あなたが該当するもの全てを選択してください。
いずれにも該当しない場合は、「自宅通学（またはこれに準ずる）」を選択し直してください。
□①実家（生計維持者いずれもの住所）から大学等までの通学距離が片道60キロメートル以上
□②実家から大学等までの通学時間が片道120分以上
□③実家から大学等までの通学費が月1万円以上
□④実家から大学等までの通学時間が片道90分以上であって、通学時間帯に利用できる交通機関の運行本数が1時間当たり1本以下
□⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難である場合
「自宅通学（またはこれに準ずる）」を選択した場合は、入力不要です（ボタンを押すことはできません）。
上記で「⑤その他やむを得ない特別な事情により、学業との関連で、実家からの通学が困難」と答えた人は、実家から通学した場合、学業継続に支障が生じますか。
○支障が生じる
上記で「支障が生じる」と答えた人は、支障が生じる理由を以下に記入してください。
「自宅外通学」となるあなたの現住所を入力してください。
（11）の設問で、自宅外通学を選択した方は、一人暮らしまたは、寮の住所を記入してください。
マンションや寮の方は、部屋番号まで記入してください。
④－奨学金給付額情報
貸与奨学金のみ希望する方は、入力の必要はありません。
⑤－奨学金貸与額情報
1. 第一種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。
(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。
学校は「国・公立」の月額が適用されます。プルダウンリストから希望する月額を選択してください。
【2018年度以降入学者(2018年4月以降の入学年月を入力した人)の貸与月額】
区分
月額の種類
大学
国・公立
私立
短期大学・専修学校（専門
自宅
自宅外
最高月額
4万5千円
5万1千円
5万4千円
6万4千円
5万3千円
最高月額以外の月額
5万円
4万円
3万円
2万円
第一種奨学金を希望される方は、希望月額を記入してください。
また、(1) で最高月額を選択された方は、最高月額が貸与できなかった場合の希望金額も記入してください。
最高月額を選択した人は、以下の質問に答えてください。
貸与月額○○円は一定の条件を満たした場合のみ貸与を受けられる月額です。
条件を満たさなかった場合に希望する月額を選択してください。
6



【2017年度以前入学者(2018年3月以前の入学年月を入力した人)の貸与月額】

大学				短期大学・専修学校（専門課程）		
国・公立		私立		国・公立		私立
自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅
4万5千円	5万1千円	5万4千円	6万4千円	4万5千円	5万1千円	5万3千円
3万円				3万円		

2017年度以前入学者は、最高月額の選択の制限はありません。

(2) あなたの希望する返還方式を選択してください。

(注) 所得連動返還方式を希望する場合、保証制度は「機関保証」

(2) ○所得連動返還方式 ○定

(3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。 (3)○はい

「はい」と答えた人はこれまでに今回申込みと同一学種で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。

奨学生番号（半角数字

第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し

みを行ってください。

(注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。

再貸与

2. 第二種奨学金を希望する人は次のことに答えてください。

(1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1)

2万円	3万円	4万円	5万円	6万円	7万円
8万円	9万円	10万円	11万円	12万円	

(2) あなたは私立大学の医学・歯学・薬学・獣医学課程に在学していますか。

(2) ○は

(3)「はい」と答えた人でかつ12万円の月額を選択した人のみ増額月額を希望す

ます。

あなたは（医・歯は4万円増、薬・獣医は2万円増）を希望しますか。

(3) ○4万円 ○2万円

※貸与月額について確認してください。

あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の

となります。

この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。

なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種

月額を必要とする「理由」をご記入いただくことになります。

ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があり

○は

(4) あなたは何月分から貸与を希望しますか。

(注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。

(4) 西暦（半角数字4桁） 年

3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。

(1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。

1年次に入学した人および編入学の人のみ希望することができます。

(1) ○はい

(2)「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。

(2) ○10万円 ○20万円 ○30万円 ○40万円

4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。

(1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。

(1) ○利率固定方式 ○利率見直し方式

（2）第一種奨学金を希望される方は、「所得連動返還方式」もしくは「定額返還方式」どちらかを選択してください。「所得連動方式」を選択した場合、保証制度は「機関保証」となります。
「貸与奨学金案内」P.18～19

（3）過去に第一種奨学金を受給したことがある方は「はい」とし、奨学生番号を記入してください。
「貸与奨学金案内」P.28

（4）第二種奨学金を希望される方は、貸与を希望する始期を 2024 年 4 月～6 月の間で選択をしてください。
※ここで４月と選択すると、初回振込み月に４月分から奨学金が遡って振込まれます。

３.入学時特別増額貸与奨学金は、今年度入学された方のみ希望できます。
希望される方は、「貸与奨学金案内」P.11 を確認してください。

４（1）第二種奨学金および入学時特別増額を希望する方は、「利率固定方式」もしくは「利率見直方式」のどちらかを選択してください。
「貸与奨学金案内」P.16～17

STEP4
⑥ーあなたの履歴情報
1. あなたの最終学歴を記入してください。
1. 西暦（半角数字４桁）年 月 卒業または退学
直近に卒業または退学した学校の年月及び学校を選択してください。
Ｉ－Ｉ　最終学歴欄には「高校」「大学」等を記入してください。高校名等を記入する必要はありません。
2. あなたは国内の高等学校（本科）を卒業しましたか。
○はい　○いいえ
高等学校卒業後に専修学校高等課程などに進学・卒業した場合、「あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月」は専修学校高等課程ではなく高等学校の卒業年月を入力してください。
「はい」と答えた人にお聞きします。
あなたがはじめて国内の高等学校を卒業した年月を記入してください。
西暦（半角数字４桁）年 月
「いいえ」と答えた人にお聞きします。
あなたが現在通っている学校への入学前の履歴は次のうちどちらになりますか。
○高等学校卒業程度認定試験合格者
○その他（インターナショナルスクール、在外教育施設等）
高等専門学校を卒業した場合、第3学年修了年月を入力してください（高等課程2年間を含まない年月を入力してください）。
（例）
高等専門学校（高等課程）を2024年3月に卒業
⇒高等学校を卒業した年月は2022年3月
「高等学校卒業程度認定試験合格者」と答えた人にお聞きします。
あなたは高等学校卒業程度認定試験にいつ合格しましたか。
西暦（半角数字４桁）年 月
あなたは、高等学校卒業程度認定試験の受験資格を取得した年度（16歳になる年度）から高等学校卒業程度認定試験合格者となった年度まで５年を経過していますが、５年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していましたか。
○はい　○いいえ
「5年を経過した後も毎年度高等学校卒業程度認定試験を受験していた」とは、下記のような場合が該当します。
（例）
・16歳になる年度：2015年度
・16歳になる年度から5年経過
⇒ 2020年4月1日以降
・2020年度、2021年度に高等学校卒業程度認定試験受験（不合格）
・2022年度に高等学校卒業程度認定試験受験（合格）
「その他」と答えた人にお聞きします。
あなたが卒業又は修了した「その他」の学校名（正式名称）とその学校を卒業又は修了した年月を記入してください。
西暦（半角数字４桁）年 月
3.【給付】あなたはこれまでに、日本学生支援機構の給付奨学金（原則、返還不要）を受けていますか。（現在支給が終了しているものを含む）
○はい　○いいえ
【貸与】あなたはこれまでに、「②-奨学金申込情報」で入力した他に日本学生支援機構の貸与奨学金（第一種・第二種）（原則、要返還）を受けていますか。（現在貸与が終了しているものを含む）
○はい　○いいえ
②ー奨学金申込情報で入力した奨学生番号以外に、日本学生支援機構の給付奨学金又は貸与奨学金を受けている、あるいは受けたことがある場合は、設問にて「はい」を選択のうえ、その奨学生番号を全て入力してください。
②ー奨学金申込情報で入力した奨学生番号以外に奨学金を受けたことがない場合は、設問で「いいえ」を選択してください。
なお、採用取消となったものは入力しないでください。
高校在学中に、都道府県等（日本学生支援機構及び日本育英会以外）から奨学金の貸与を受けていた人は、「いいえ」を選んでください。
高等学校及び専修学校高等課程の奨学金は、平成17年度入学者より、日本学生支援機構から各都道府県に移管されました。
上のいずれかの設問で「はい」を選択した人は、その奨学生番号を記入してください。
※第一種奨学金を利用している人が給付奨学金を受給する場合は、貸与額が調整されます。
※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入してください。
※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。
奨学生番号 1 削除 追加
②ー奨学金申込情報で入力した奨学生番号は入力しないでください。奨学生番号が複数ある場合は「追加」ボタンを押してすべての奨学生番号を記入してください。記入を取り消す場合は「削除」ボタンを押してください。
半角数字（例）
奨学生番号 1 612 04
奨学生番号 2 619
奨学生番号 3 810
奨学生番号 4 815
奨学生番号 5
スカラネット入力下書き用紙Ｐ．３の「奨学金申込情報」で記入した奨学生番号は記入する必要はありません。
※第二種奨学金の貸与について確認してください。
あなたは、これまでに同一の学校区分で２回以上、第二種
日本学生支援機構の規定により、これ以上第二種奨学金を
借りられる期間が制限される場合があります。
いる人に表示されます。

STEP5

⑦ー保証制度

1．あなたが希望する保証制度を選択してください。

○（1）機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から引かれます）。

□ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

○（2）人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

□ 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

希望する保証制度を選んでください。

選択した保証制度により P.10～11 は記入する箇所が異なります。

併願又は併用で申し込み（STEP3 画面にて、次の選択肢を選択した場合）、

(2) 第１希望：第一種奨学金　第２希望：第二種奨学金

(4) 第１希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）

(5) 第１希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）　第２希望：第一種奨学金

(6) 第１希望：第一種奨学金と第二種奨学金(併用)　第２希望：第一種奨学金　第３希望：第二

(7) 第１希望：第一種奨学金と第二種奨学金（併用）　第２希望：第二種奨学金

かつ第一種奨学金の返還方法を「所得連動返還方式」と選択した場合

1．第一種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

所得連動返還を希望する場合、保証制度は「機関保証」のみになります。「人的保証」は選択できません。

◉（1）機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

□ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

所得連動方式を希望する場合、第一種奨学金の保証制度は「機関保証」となります（人的保証は表示されません）。詳細は18ページ 9 を参照してください。

2．第二種奨学金についてあなたが希望する保証制度を選択してください。

○（1）機関保証

※機関保証制度は、連帯保証人や保証人の選任が不要です（一定の保証料が毎月の奨学金から差し引かれます）。

□ 制度の内容について承知し、機関保証を選択します。

○（2）人的保証

※人的保証制度は、選任する連帯保証人や保証人に事前に了解をとっておく必要があります。

□ 制度の内容について承知し、人的保証を選択します。

チェックを入れないと次に進むことができません。

STEP6

⑧ー貸与奨学金返還誓約書情報・給付奨学金本人等情報

1．あなた自身について入力してください。

（1）あなたのお名前は△△　○○さんですね。

（2）あなたの性別を選択してください。（任意）　（2）

（3）あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。　（3）成年判定

（4）あなたの現住所を記入してください。

※申込者本人のマイナンバーを申込時に提出できない場合は、住民票住所を入力し

（4）（郵便番号）（半角数字）

住所１（自動入力）

住所２（番地以降）（全角文字）

現在、住んでいる住所を記入してください。

（5）あなたの電話番号を記入してください。

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

（5）（半角数字）

携帯電話の電話番号を記入してください。　（携帯）（半角数字）

①ーあなたの氏名・誓約情報 で入力した姓名が表示されます。

①ーあなたの氏名・誓約情報 で入力した生年月日により判定されます。

も入力してください。

住所の入力例

（郵便番号）162 － 9999　住所検索 ←押下

注意！

表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。

住所1（自動入力）　○東京都　新宿区　市谷本村町　1丁目

○東京都　新宿区　市谷本村町　2丁目

○東京都　新宿区　市谷本村町　3丁目

住所2（番地以降）　９９－９　機構ハイツ５０５

注意！

※番地以降を全て全角で入力してください（英数字やハイフン、スペースを含む）。入力漏れがあると次の画面に進めません。

※番地以降のない住所は、住所２欄に全角で「．（ピリオド）」を入力してください。

※住所２欄には、住所１欄の表示部分を入力しないでください。

左記例の場合、住所１欄で「１丁目」を選択し、住所２欄に誤って「１丁目９９－９…」と入力した場合、届出内容は「１丁目１丁目９９－９…」となります。

※住所、電話番号に海外の住所等を入力することはできません。連絡の取れる国内の住所、電話番号の入力をしてください。

⑦ー保証制度で「(1) 機関保証」を選択した人

2．本人以外の連絡先について

あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。

(1) その氏名　　姓　名

(1) 漢字（全角漢字）

カナ（全角カナ）

(2) その生年月日　(2)　年　月　日生

(3) あなたとの続柄　(3)

(4) その住所　(4) (郵便番号) (半角数字)　住所検索

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(5) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(5) (半角数字)

その携帯電話の電話番号　(携帯) (半角数字)

機関保証を選択した方は、連絡先として1名登録が必要です。
奨学金返還中、日本学生支援機構があなたと連絡が取れなかった際に使用しますので、父母どちらかをお勧めします。

⑦ー保証制度で「(2) 人的保証」を選択した人

3．連帯保証人と保証人について

あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力してください。

⑦ー保証制度にて「人的保証」を選択した場合に表示されます。

連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「奨学金案内」24～26ページを確認してください。

(1) 連帯保証人について入力してください。

・（あなた（申込者）が成年の場合）原則として、父母[illegible]はおじ・おば等にしてください。

・未成年者等保証能力がない人は認められません。

・債務整理（破産等）中の人を連帯保証人に選任することは認められません。

連帯保証人は、事情がある場合を除き、父母どちらかを選択してください。

(a) その氏名　　姓　名

(a) 漢字（全角漢字）

カナ（全角カナ）

(b) その生年月日　(b)　年　月　日生

(c) あなたとの関係　(c)

未成年後見人の場合は、その続柄

(d) その住所

・連帯保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してください。

※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。

(d) (郵便番号) (半角数字)　住所検索

※9ページの「住所の入力例」参照。

・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。

住所1（自動入力）

住所2（番地以降）（全角文字）

(e) その電話番号

※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。

(e) (半角数字)

その携帯電話の電話番号　(携帯) (半角数字)

(f) その勤務先　(f) (全角文字)

勤務先電話番号　(半角数字)

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と入力してください。
無職の場合は「その勤務先」には何も入力しないでください。

※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。

□ 無職

人的保証を選択した人は、11ページの「(2)保証人について入力してください。」を記入してください。

⑦ー保証制度で「(2) 人的保証」を選択した人（続き）

(2) 保証人について入力してください。

・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未
の人を選んでください。
・未成年者等保証能力がない人は認められま
・債務整理（破産等）中の人を保証人に選任するこ

(a) その氏名
(a) 漢字（全角漢字）
カナ（全角カナ）
(b) その生年月日　(b)　年　月
(c) あなたとの続柄　(c)
(d) その住所
・保証人の印鑑登録証明書（市区町村発行）に記載されている住所を入力してくだ
※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。
(d)（郵便番号）（半角数字）　住所検
住所1（自動入力）
住所2（番地以降）（全角文字）
(e) その電話番号
※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。
(e)（半角数字）
その携帯電話の電話番号　（携帯）（半角数字）
(f) その勤務先　(f)（全角文字）
勤務先電話番号　（半角数字）
※保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。
□無職
(g) 連帯保証人と保証人は別生計ですね。　(g) ○はい　○いいえ
※連帯保証人、保証人に相応しい人物かどうか、入力情報を元に判定を行います。年齢による判定では、各人物の誓約日(⑦ーあなたの氏名・誓約情報で入力した年月日)時点での年齢を元に判定を行います。

保証人は収入の有無に関わらず、父母は選択できません。「貸与奨学金案内」P.24～26 を確認し、該当する方を選任してください。65 歳以上の親族や４親等以外の方を保証人に選任する場合、収入や資産の条件があります。

自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農業」と記入してください。
無職の場合は「その勤務先」には何も入力しないでください。

連帯保証人・保証人について

⑦ー保証制度で「人的保証」を選択した人は、連帯保証人及び保証人を１人ずつ（合計２人）入力する必要があります。

連帯保証人は、奨学金の返還についてあなたと同等の責任を負います。

保証人には、「分別の利益」が適用されます。また、「検索の抗弁権」及び「催告の抗弁権」があります（連帯保証人にはありません）。

詳しくは、「奨学金案内」24ページを参照してください。

また、「奨学金案内」24 ～ 26ページにより、選任した連帯保証人・保証人が機構の定める条件を満たすかどうかチェックしてください。選任条件を全て満たし、かつ必要書類を提出できる場合は、連帯保証人・保証人として選任できますので、10 ページの３の (1)、及び本ページの３の (2) を記入してください。

もし、**１つでも選任条件を満たさない、又は必要書類を提出できない場合は、連帯保証人・保証人として選任できません。**あらためて条件に合致する別の人を選任しなおしてください。条件に合致する人を選任できない場合は、⑦ー保証制度で「機関保証」を選択し、保証制度を変更してください。

採用時に提出しなければならない書類（返還誓約書）には、スカラネットで入力した連帯保証人及び保証人が自署・押印（実印）し、印鑑登録証明書等を添付しなければなりません。**スカラネット入力前に、連帯保証人・保証人として予定している人に役割、自署・押印、提出書類について説明し、奨学金の返還について引き受けることの承諾を得ておいてください。**

STEP7

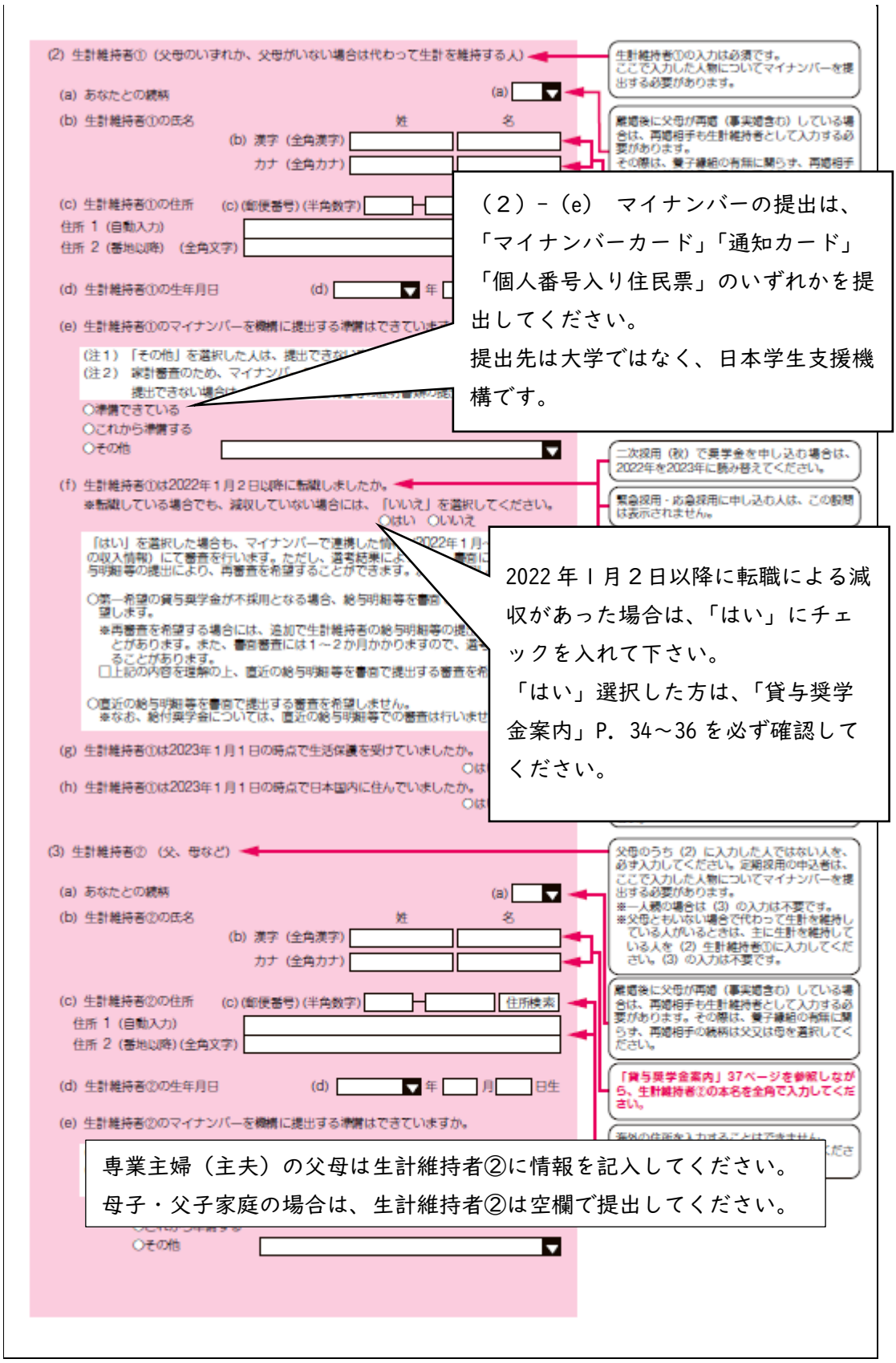
⑧ーあなたの家族情報

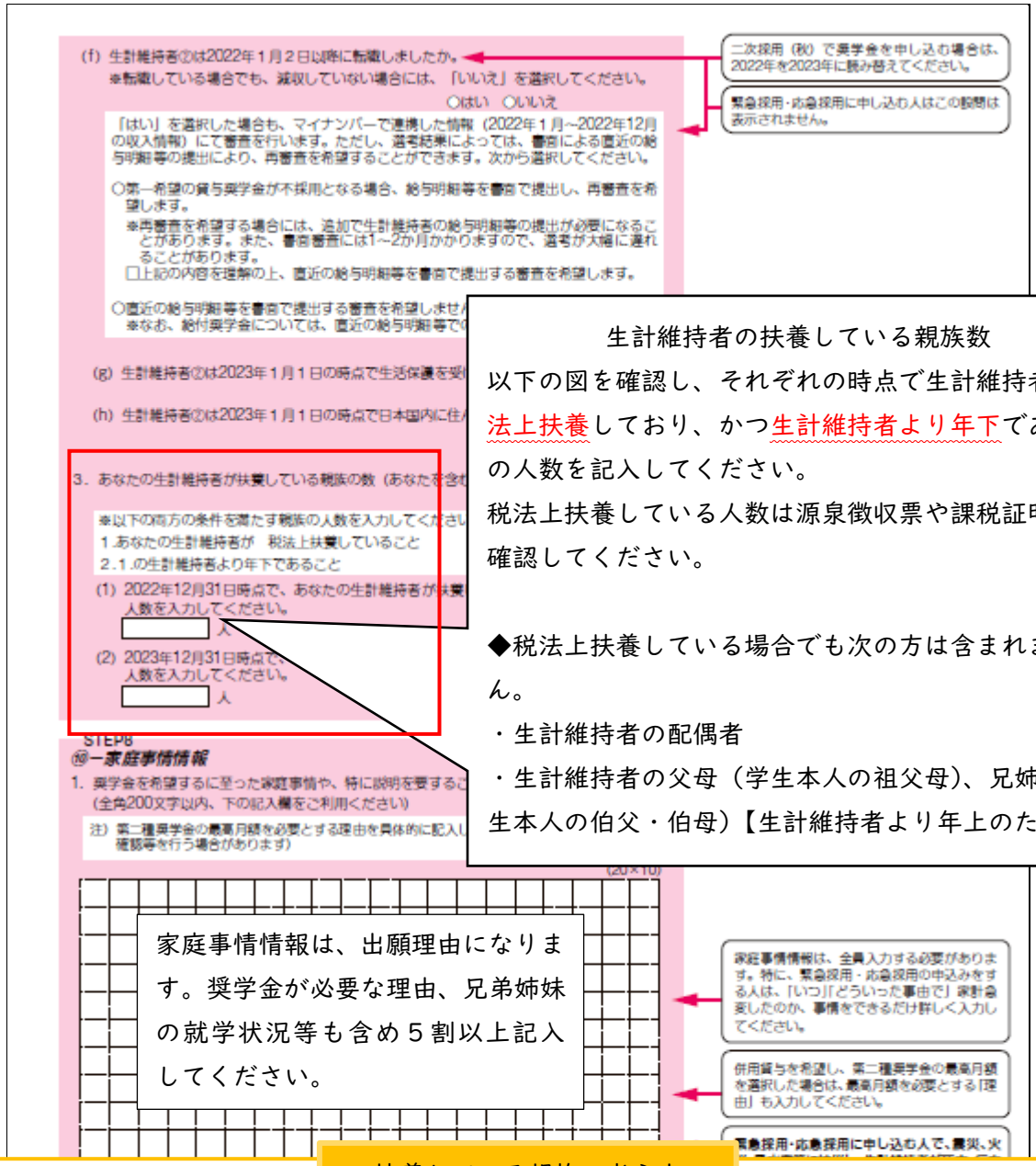
1．あなたは社会的養護を必要とする人ですか。　○はい　○いいえ
「はい」と答えた人は、あてはまるものを選択してください。
○児童養護施設入所者等　○児童自立支援施設入所者等
○児童心理治療施設入所者等　○自立援助ホーム入所者等
○里親に養育されている（いた）人　○ファミリーホームで養育されている（いた）人

「はい」を選択する人は、施設に入所していた（入所している）、又は里親による養育を受けていたことがわかる日付が記載された証明書類の提出が必要です。
（証明書類の例）
施設等在籍証明書（施設長発行）、児童（里親）委託証明書（児童相談所発行）、措置解除決定通知書（児童相談所発行）等
※機構の所定様式「施設等在籍・退所証明書」

2．生計維持者（原則父母、父母がいない場合は代わって生計を維持する人）について記入してください。
1で「はい」と回答した人については、生計維持者について一部自動表示されます。
※父母がいる場合は、収入の有無に関わらず必ず父母ともに生計維持者として入力が必要です（離婚等により完全に別生計の人を除く）。
(1) あなたの生計維持者の人数を選択してください。　(1)

２－（1）生計維持者の人数
専業主婦（主夫）の場合も生計維持者に含みます。
母子・父子家庭の方は１名としてください。


(2) 生計維持者① (父母のいずれか、父母がいない場合は代わって生計を維持する人)
生計維持者①の入力は必須です。
ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。
(a) あなたとの続柄
(b) 生計維持者①の氏名
姓
名
(b) 漢字 (全角漢字)
カナ (全角カナ)
(c) 生計維持者①の住所
(c) (郵便番号) (半角数字)
住所 1 (自動入力)
住所 2 (番地以降) (全角文字)
(d) 生計維持者①の生年月日
(e) 生計維持者①のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。
○準備できている
○これから準備する
○その他
（２）－（e） マイナンバーの提出は、「マイナンバーカード」「通知カード」「個人番号入り住民票」のいずれかを提出してください。
提出先は大学ではなく、日本学生支援機構です。
(f) 生計維持者①は2022年１月２日以降に転職しましたか。
※転職している場合でも、減収していない場合には、「いいえ」を選択してください。
○はい ○いいえ
二次採用（秋）で奨学金を申し込む場合は、2022年を2023年に読み替えてください。
緊急採用・応急採用に申し込む人は、この設問は表示されません。
2022 年 1 月 2 日以降に転職による減収があった場合は、「はい」にチェックを入れて下さい。
「はい」選択した方は、「貸与奨学金案内」P. 34～36 を必ず確認してください。
(g) 生計維持者①は2023年１月１日の時点で生活保護を受けていましたか。
(h) 生計維持者①は2023年１月１日の時点で日本国内に住んでいましたか。
(3) 生計維持者② (父、母など)
父母のうち (2) に入力した人ではない人を、必ず入力してください。定期採用の申込者は、ここで入力した人物についてマイナンバーを提出する必要があります。
※一人親の場合は (3) の入力は不要です。
※父母ともいない場合で代わって生計を維持している人がいるときは、主に生計を維持している人を (2) 生計維持者①に入力してください。(3) の入力は不要です。
(a) あなたとの続柄
(b) 生計維持者②の氏名
(b) 漢字 (全角漢字)
カナ (全角カナ)
(c) 生計維持者②の住所
(c) (郵便番号) (半角数字)
住所検索
住所 1 (自動入力)
住所 2 (番地以降) (全角文字)
(d) 生計維持者②の生年月日
(e) 生計維持者②のマイナンバーを機構に提出する準備はできていますか。
○その他
専業主婦（主夫）の父母は生計維持者②に情報を記入してください。
母子・父子家庭の場合は、生計維持者②は空欄で提出してください。



生計維持者の扶養している親族数

以下の図を確認し、それぞれの時点で生計維持者が税法上扶養しており、かつ生計維持者より年下である方の人数を記入してください。

税法上扶養している人数は源泉徴収票や課税証明書で確認してください。

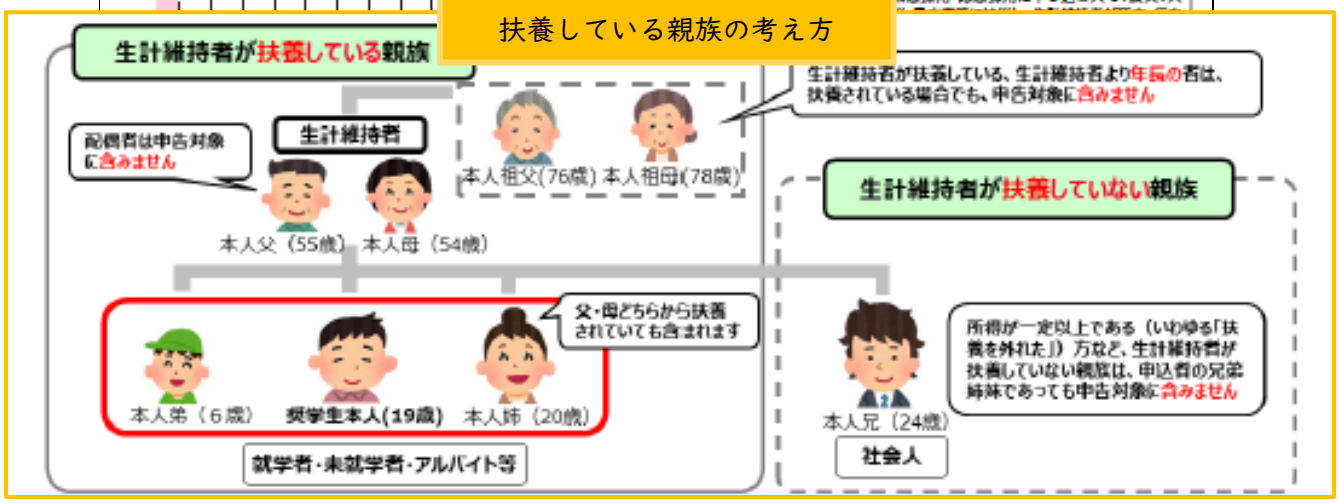
◆税法上扶養している場合でも次の方は含まれません。

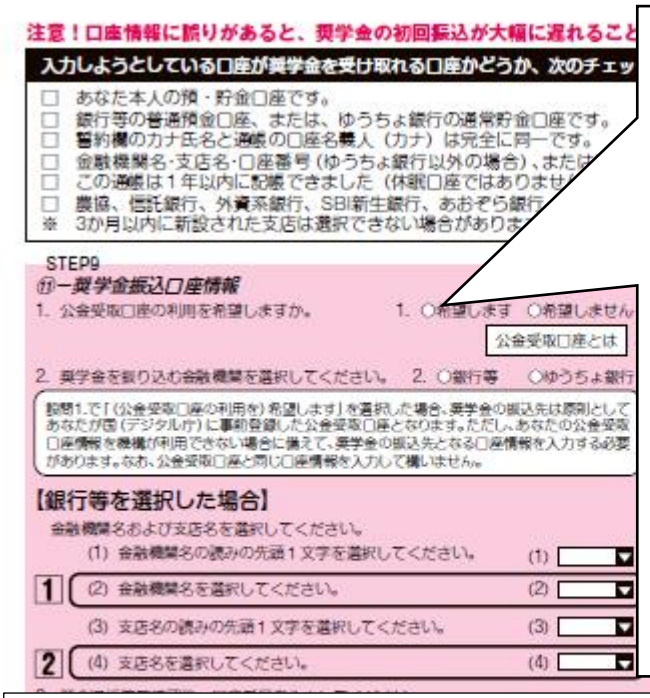
・生計維持者の配偶者

・生計維持者の父母（学生本人の祖父母）、兄姉（学生本人の伯父・伯母）【生計維持者より年上のため】

家庭事情情報は、出願理由になります。奨学金が必要な理由、兄弟姉妹の就学状況等も含め５割以上記入してください。

扶養している親族の考え方





⑪-1 公金受取口座について

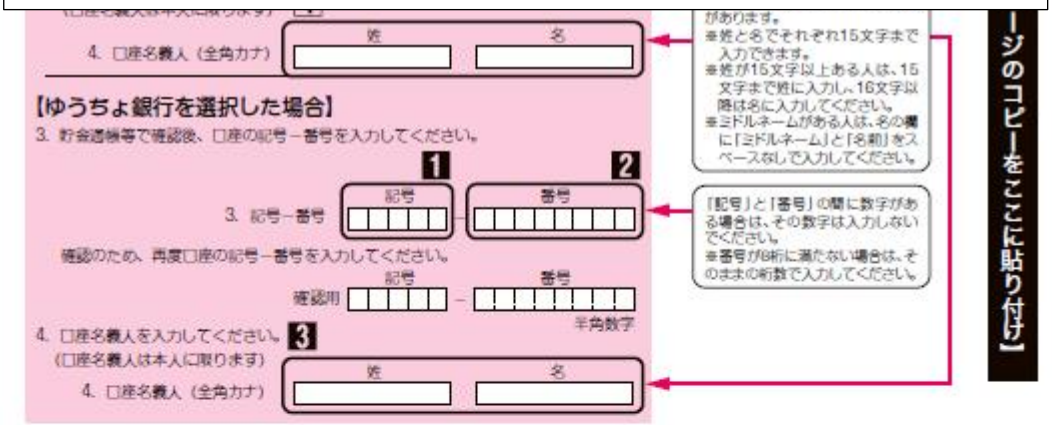
・預貯金口座の情報をマイナンバーとともに国に登録している方のみ利用できます。

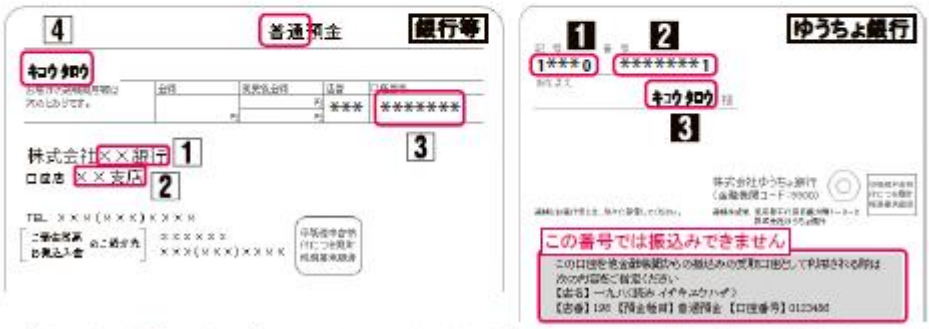
・公金受取口座の利用を希望しない場合は、「いいえ」を選択してください。

・公金受取口座を希望する場合も、⑪-2 の口座情報等は記入してください。

⑪-1 の口座情報が取得できない場合、⑪-2 の口座に奨学金は振り込まれます。

奨学金の振込口座は、学生本人名義に限ります。ネットバンク等一部利用できない口座がありますので、「貸与奨学金案内（ピンク色）」P. 15 を確認してください。





15・16 ページは記入不要です。